

2021年7月 戸田市景気動向に関するアンケート調査結果

1 目的

市内の景況に関し、現状や見通しなどの調査を行うことで、業種別の市内景気の動向を迅速に把握するほか、コロナ対応の資金繰り支援の実態把握、これから展開を予定しているトピックへの興味関心について伺うことで、今後どのような支援策が必要かどうか、経済施策立案のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査期間

2021年7月5日(月)～7月20日(火)

3 調査対象

市内事業者500社

4 調査方法

WEB調査
(対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)

5 回答状況

有効回答数	190社
回答率	38.0%

市内中小企業の景況感

市内中小企業の景況感は、厳しい状況ではあるが、
見通しについては、改善の動きがみられる。

特別調査

コロナ対応での資金繰り(融資の利用状況)について
市内事業者検索サイトでの企業情報公開について
SDGs(持続可能な開発目標)について

DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは

増加(好転)と回答した企業割合から減少(悪化)と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことである。

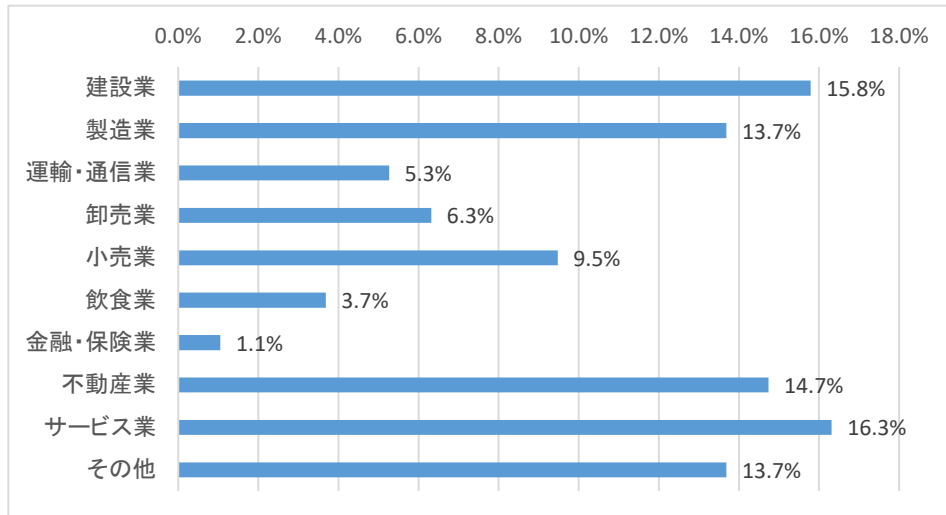
<例>「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%

$$DI = 50\% - 30\% = 20$$

調査の基本項目

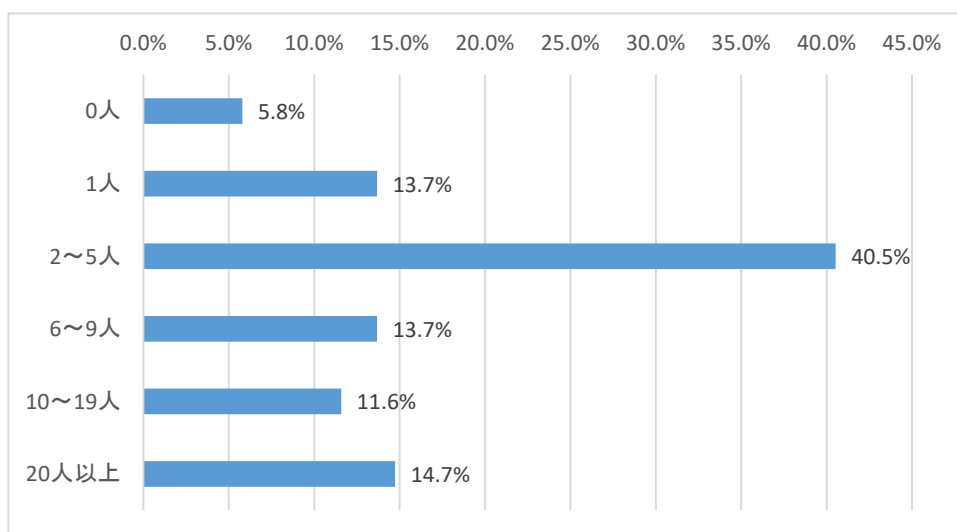
1 事業所の業種

回答事業所の業種分類は、「サービス業」が16.3%、「建設業」が15.8%、「不動産業」が14.7%で続き、以下「製造業」、「小売業」、「卸売業」、「運輸・通信業」、「飲食業」、「金融・保険業」となっている。



2 従業員数

回答事業所の従業員数の分布は、「2～5人」が40.5%、「20人以上」が14.7%、「1人」及び「6～9人」が13.7%で続いています。本調査では小規模の事業所の回答が中心となっていることがうかがえる。



1 戸田市内の景況や貴事業所の動向について

Q1 景況や貴事業所の動向の「実績見込み」と「見通し」について

戸田市内の景況や貴事業所の動向に関する以下の10項目について、それぞれ該当するものを選択

・実績見込み: 令和3年度上期は、令和2年度下期と比べていかがか。

・見通し: 令和3年度下期は、現在の実績と比べてどうなると思うか。

なお、業種によっては回答する必要のない項目があるため、その場合は未記入

※10項目

(1)景況感 (2)生産高・売上高 (3)経常利益 (4)雇用人員

(5)労働時間 (6)製品(商品)価格 (7)原材料・仕入価格

(8)製品(商品)在庫 (9)資金繰り (10)設備投資

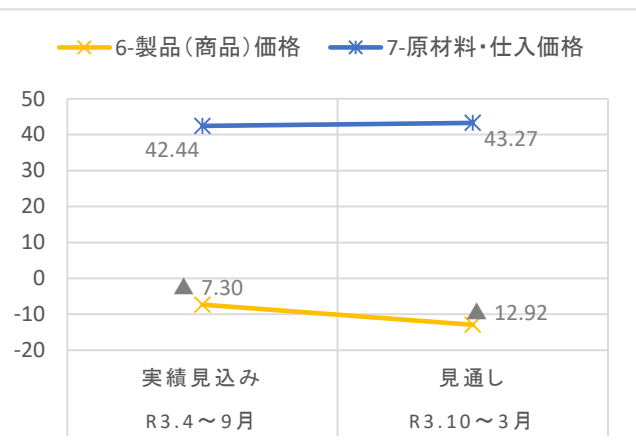
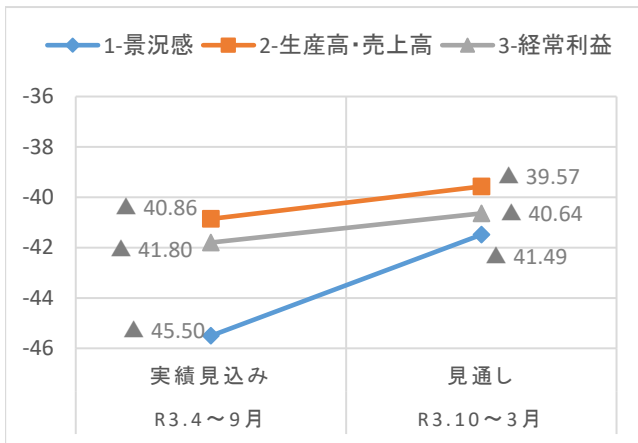
※上記の質問について、DIを算出し、グラフを作成

[全体の概要]

来期(令和3年下期)の「景況感DI」は、-41.49となり、厳しい状況である。しかしながら、見通しについては、今期(令和3年上期)-45.50と比較して4.01ポイント上回った。同様に、「生産高・売上高DI」及び「経常利益DI」もやや上昇傾向となっている。状況は悪いながらも、見通しについては、若干の改善傾向が見られる。

一方、製品(商品)価格DIは、今期-7.3、来期-12.92と5.62ポイント下降している。原材料・仕入価格DIでは0.83ポイント上昇となっている。

※下の折れ線グラフでは、景況感への影響の強い5項目(①景況感、②生産高・売上高、③経常利益、⑥製品(商品)価格、⑦原材料・仕入価格)を掲載している。

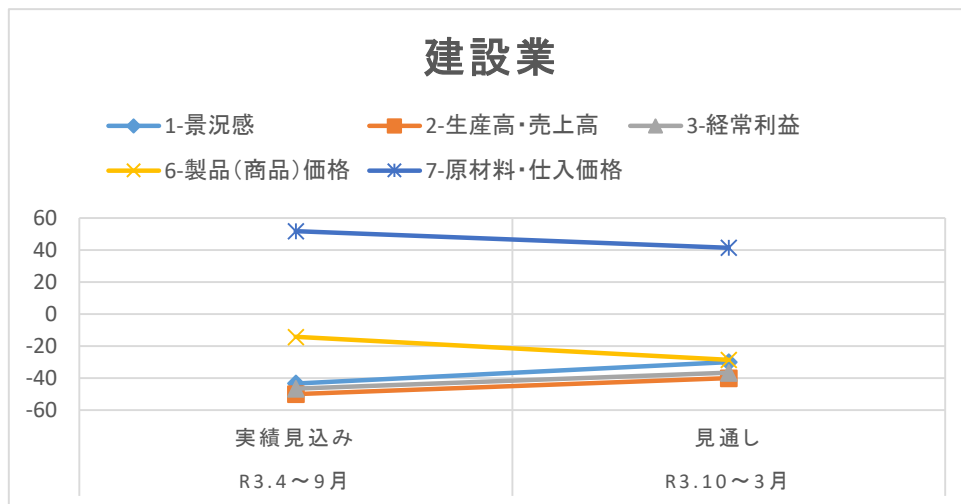


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月
	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 45.50	▲ 41.49
2-生産高・売上高	▲ 40.86	▲ 39.57
3-経常利益	▲ 41.80	▲ 40.64
4-雇用人員	▲ 15.96	▲ 22.34
5-労働時間	▲ 19.35	▲ 11.83
6-製品(商品)価格	▲ 7.30	▲ 12.92
7-原材料・仕入価格	42.44	43.27
8-製品(商品)在庫	▲ 9.25	▲ 5.20
9-資金繰り	▲ 25.81	▲ 31.35
10-設備投資	▲ 7.10	▲ 7.65

〔建設業の概要〕

今期(令和3年上期)の「生産高・売上高DI」は-50.0となり、見通しについては、10ポイント増加の-40.0と改善傾向である。「経常利益DI」も今期-46.67、見通し-36.67と改善傾向である。「景況感DI」も今期-43.33、見通し-30.0と厳しいながらも持ち直しの傾向がみられる。

「製品(商品)価格DI」は、今期-14.29、見通し-28.57と下降傾向であり、「原材料・仕入価格DI」は、今期51.72、見通し41.38と下降傾向である。

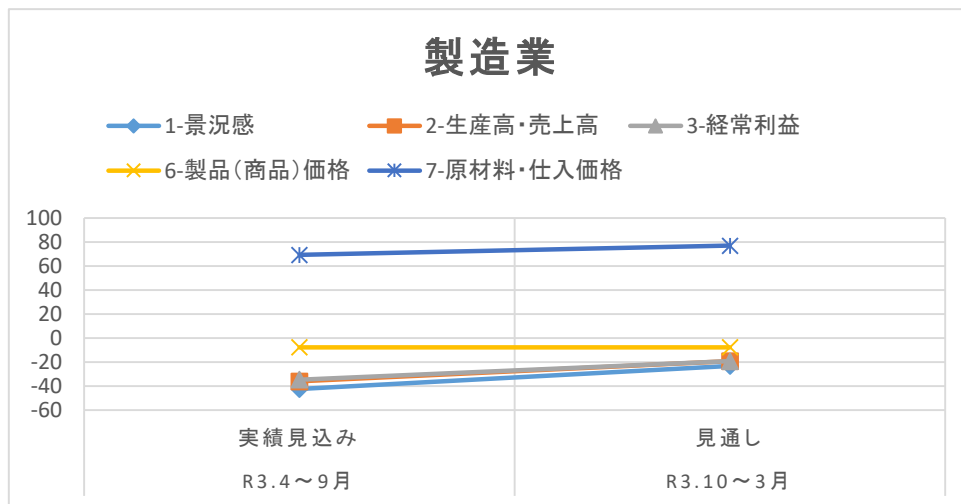


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月
	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 43.33	▲ 30.00
2-生産高・売上高	▲ 50.00	▲ 40.00
3-経常利益	▲ 46.67	▲ 36.67
4-雇用人員	▲ 33.33	▲ 33.33
5-労働時間	▲ 33.33	▲ 23.33
6-製品(商品)価格	▲ 14.29	▲ 28.57
7-原材料・仕入価格	51.72	41.38
8-製品(商品)在庫	▲ 6.90	▲ 13.79
9-資金繰り	▲ 33.33	▲ 26.67
10-設備投資	▲ 16.67	▲ 23.33

【製造業の概要】

今期(令和3年上期)の「生産高・売上高DI」は-36.00となり、見通しについては、16.77ポイント増加の-19.23と改善傾向である。「経常利益DI」も今期-34.62、見通し-19.23と改善傾向である。「景況感DI」も今期-42.31、見通し-23.08と厳しいながらも持ち直しの傾向がみられる。

「製品(商品)価格DI」は、今期-7.69、見通し-7.69と横ばいであり、「原材料・仕入価格DI」は、今期69.23、見通し76.92と上昇傾向である。

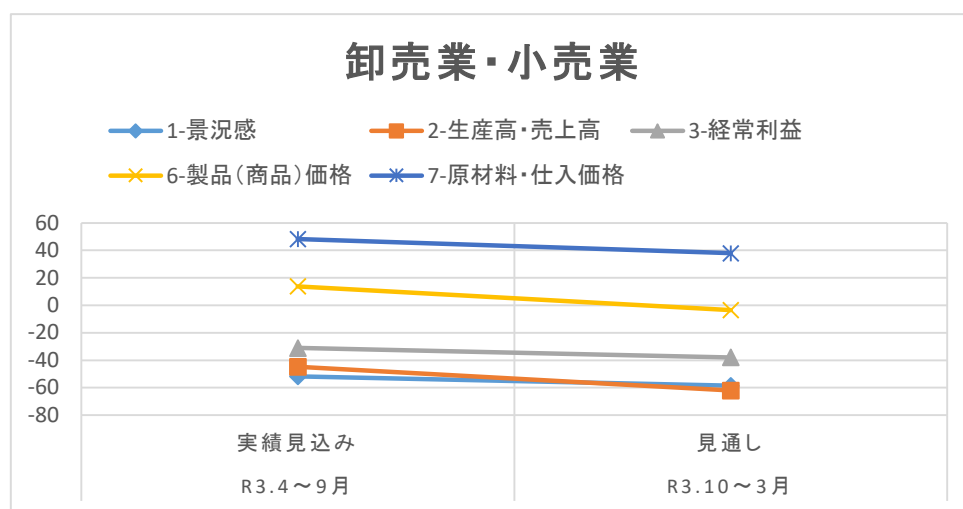


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月
	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 42.31	▲ 23.08
2-生産高・売上高	▲ 36.00	▲ 19.23
3-経常利益	▲ 34.62	▲ 19.23
4-雇用人員	▲ 15.38	▲ 19.23
5-労働時間	▲ 19.23	▲ 11.54
6-製品(商品)価格	▲ 7.69	▲ 7.69
7-原材料・仕入価格	69.23	76.92
8-製品(商品)在庫	▲ 4.00	0.00
9-資金繰り	▲ 15.38	▲ 26.92
10-設備投資	▲ 15.38	7.69

【卸売業・小売業の概要】

今期(令和3年上期)の「生産高・売上高DI」は-44.83となり、見通しについては、17.24ポイント減少の-62.07と悪化傾向である。「経常利益DI」も今期-31.03、見通し-37.93と悪化傾向である。「景況感DI」も今期-51.72、見通し-58.62とさらに厳しい状況になることが懸念されている。

「製品(商品)価格DI」は、今期13.79、見通し-3.45と下降傾向であり、「原材料・仕入価格DI」は、今期48.28、見通し37.93と下降傾向である。

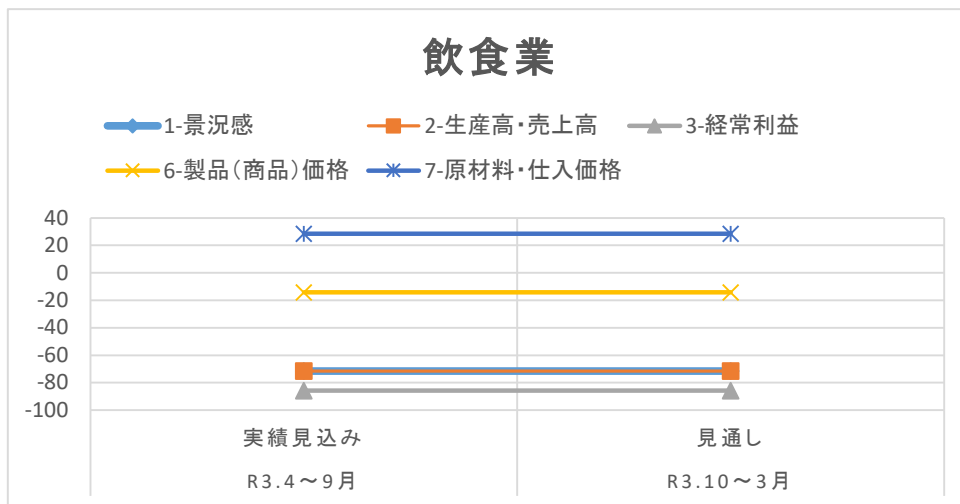


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月
	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 51.72	▲ 58.62
2-生産高・売上高	▲ 44.83	▲ 62.07
3-経常利益	▲ 31.03	▲ 37.93
4-雇用人員	▲ 24.14	▲ 34.48
5-労働時間	▲ 21.43	▲ 14.29
6-製品(商品)価格	13.79	▲ 3.45
7-原材料・仕入価格	48.28	37.93
8-製品(商品)在庫	▲ 6.90	▲ 3.45
9-資金繰り	▲ 20.69	▲ 27.59
10-設備投資	▲ 3.57	3.57

〔飲食業の概要〕

今期(令和3年上期)の「生産高・売上高DI」は-71.43となり、見通しについても、-71.43であり、非常に厳しい状況が続くことが懸念されている。「経常利益DI」も今期-85.71、見通し-85.71と横ばいで非常に厳しい状況である。「景況感DI」も今期-71.43、見通し-71.43と非常に厳しい状況が続くことが懸念されている。

「製品(商品)価格DI」は、今期-14.29、見通し-14.29と横ばい傾向であり、「原材料・仕入価格DI」も、今期28.57、見通し28.57と横ばい傾向である。

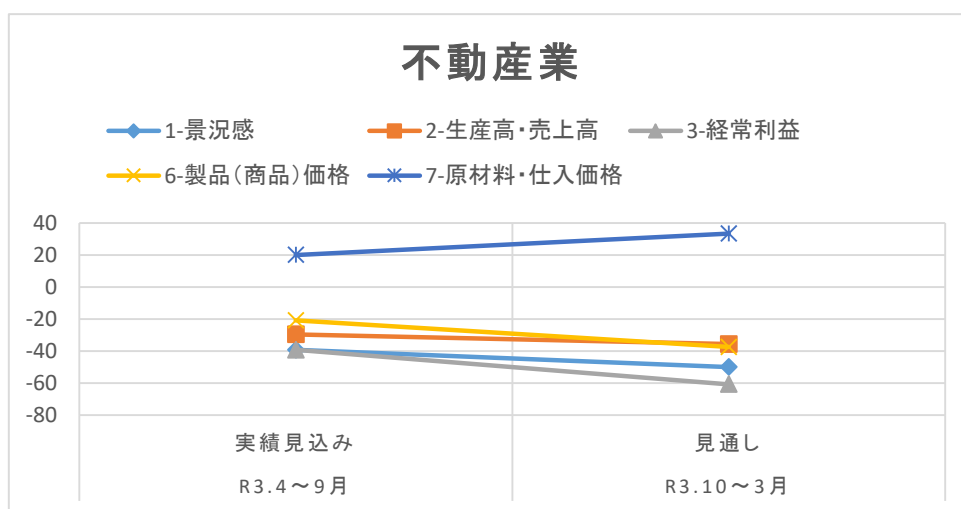


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月
	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 71.43	▲ 71.43
2-生産高・売上高	▲ 71.43	▲ 71.43
3-経常利益	▲ 85.71	▲ 85.71
4-雇用人員	▲ 14.29	▲ 14.29
5-労働時間	▲ 57.14	▲ 42.86
6-製品(商品)価格	▲ 14.29	▲ 14.29
7-原材料・仕入価格	28.57	28.57
8-製品(商品)在庫	▲ 57.14	▲ 57.14
9-資金繰り	▲ 14.29	▲ 14.29
10-設備投資	▲ 14.29	▲ 14.29

【不動産業の概要】

今期(令和3年上期)の「生産高・売上高DI」は-29.63となり、見通しについては、9.08ポイント減少の-35.71と悪化傾向である。「経常利益DI」も今期-39.29、見通し-60.71と悪化傾向である。「景況感DI」も今期-39.29、見通し-50.00と厳しい状況になることが懸念されている。

「製品(商品)価格DI」は、今期-20.83、見通し-37.50と下降傾向であり、「原材料・仕入価格DI」は、今期20.00、見通し33.33と上昇傾向である。

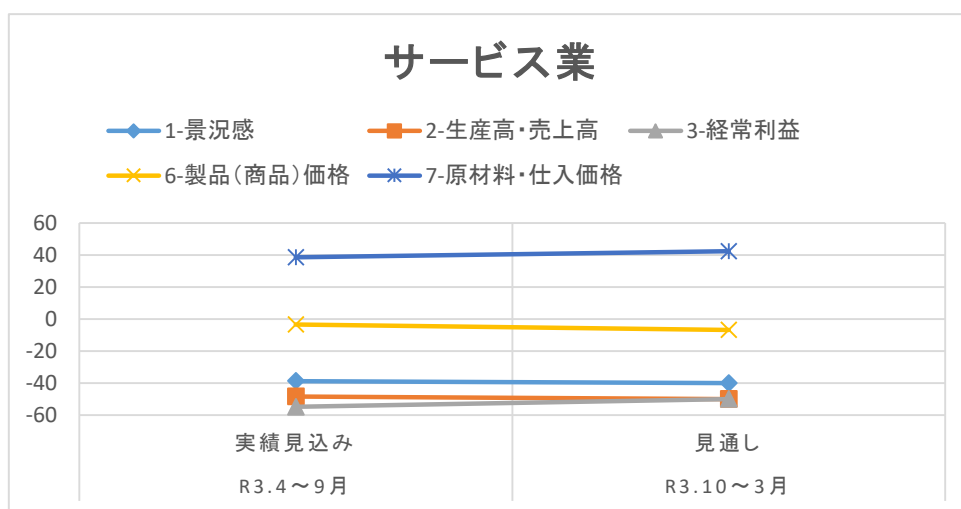


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月
	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 39.29	▲ 50.00
2-生産高・売上高	▲ 29.63	▲ 35.71
3-経常利益	▲ 39.29	▲ 60.71
4-雇用人員	▲ 18.52	▲ 18.52
5-労働時間	3.70	3.70
6-製品(商品)価格	▲ 20.83	▲ 37.50
7-原材料・仕入価格	20.00	33.33
8-製品(商品)在庫	▲ 4.17	▲ 4.17
9-資金繰り	▲ 25.93	▲ 42.31
10-設備投資	11.11	7.41

【サービス業の概要】

今期(令和3年上期)の「生産高・売上高DI」は-48.39となり、見通しについては、1.61ポイント減少の50.00と悪化傾向である。「経常利益DI」は今期-54.84、見通し-50.00と厳しいながらも多少改善傾向である。「景況感DI」は今期-38.71、見通し-40.00とさらに厳しい状況になることが懸念されている。

「製品(商品)価格DI」は、今期-3.45、見通し-6.90と下降傾向であり、「原材料・仕入価格DI」は、今期38.46、見通し42.31と上昇傾向である。

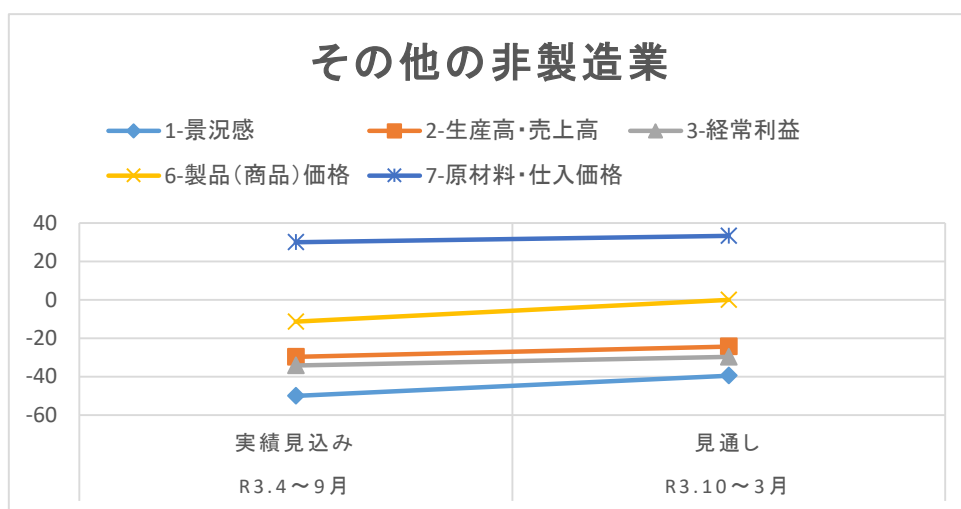


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月
	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 38.71	▲ 40.00
2-生産高・売上高	▲ 48.39	▲ 50.00
3-経常利益	▲ 54.84	▲ 50.00
4-雇用人員	▲ 3.23	▲ 9.68
5-労働時間	▲ 12.90	▲ 3.23
6-製品(商品)価格	▲ 3.45	▲ 6.90
7-原材料・仕入価格	38.46	42.31
8-製品(商品)在庫	▲ 3.85	▲ 3.85
9-資金繰り	▲ 32.26	▲ 35.48
10-設備投資	▲ 13.79	▲ 34.48

【その他の非製造業(運輸・通信業、金融・保険業、その他)の概要】

今期(令和3年上期)の「生産高・売上高DI」は-29.73となり、見通しについては、5.41ポイント増加の-24.32と改善傾向である。「経常利益DI」も今期-34.21、見通し-29.73と改善傾向である。「景況感DI」も今期-50.00、見通し-39.47と厳しいながらも持ち直しの傾向がみられる。

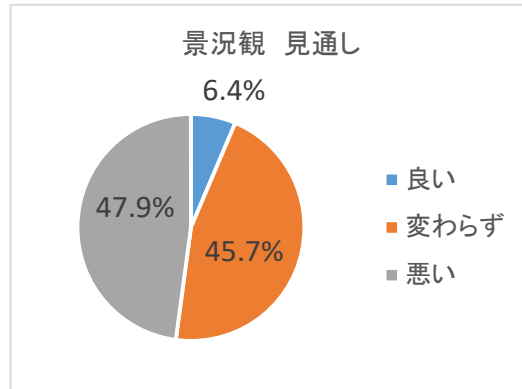
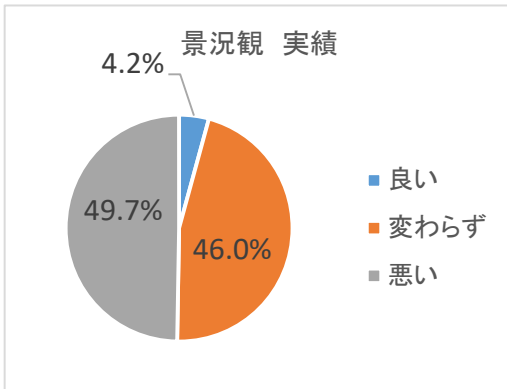
「製品(商品)価格DI」は、今期-11.43、見通し0.00と上昇傾向であり、「原材料・仕入価格DI」は、今期30.00、見通し33.33と上昇傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月
	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 50.00	▲ 39.47
2-生産高・売上高	▲ 29.73	▲ 24.32
3-経常利益	▲ 34.21	▲ 29.73
4-雇用人員	▲ 5.26	▲ 21.05
5-労働時間	▲ 21.62	▲ 13.51
6-製品(商品)価格	▲ 11.43	0.00
7-原材料・仕入価格	30.00	33.33
8-製品(商品)在庫	▲ 15.15	6.06
9-資金繰り	▲ 27.78	▲ 33.33
10-設備投資	▲ 2.78	▲ 2.78

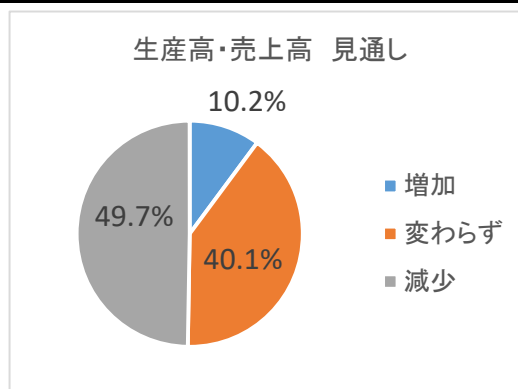
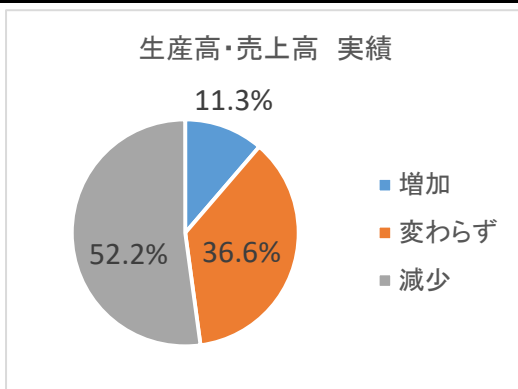
Q1-(1)景況感

- ・景況感の実績について、悪いと回答した事業者が約5割を占めている。
- ・景況感の見通しについて、良いと回答した事業者の割合が2.2ポイント増加している。



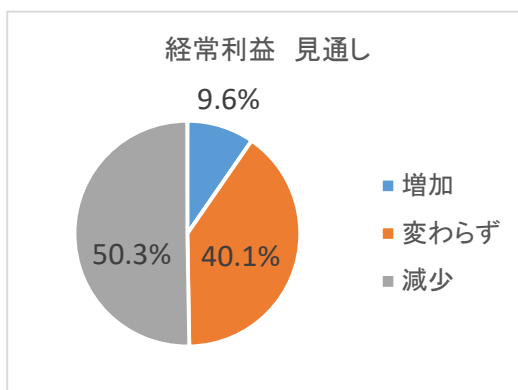
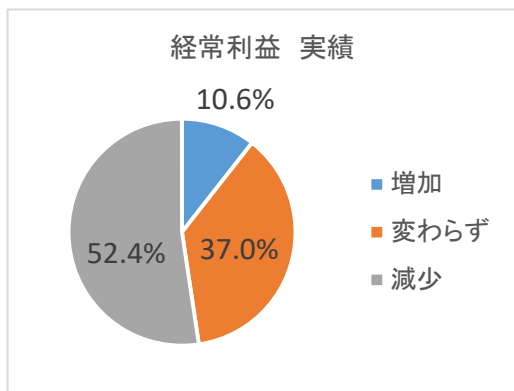
Q1-(2)生産高・売上高

- ・生産高・売上高の実績について、減少と回答した事業者が5割を超えている。
- ・生産高・売上高の見通しについて、減少と回答した事業者の割合が2.5ポイント減少している。



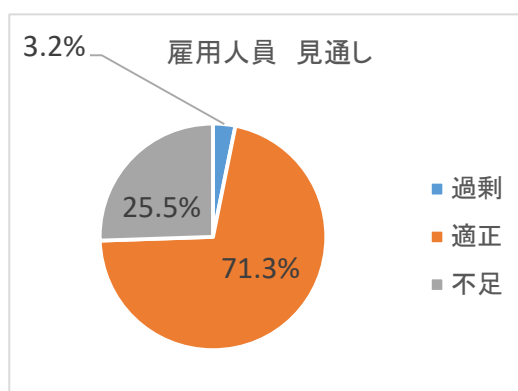
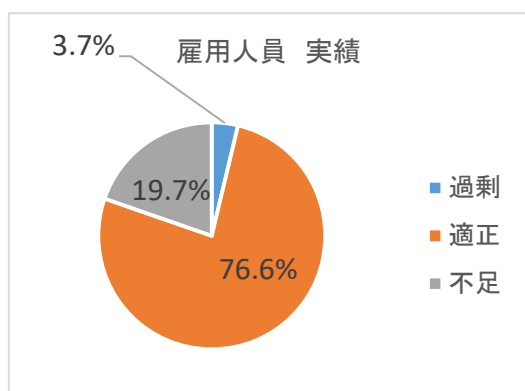
Q1-(3)経常利益

- ・経常利益の実績について、減少と回答した事業者が5割を超えている。
- ・経常利益の見通しについて、減少と回答した事業者の割合が2.1ポイント減少している。



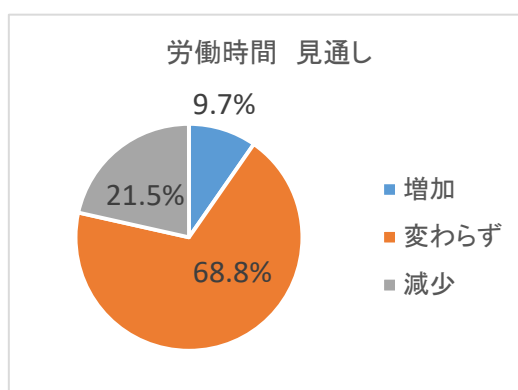
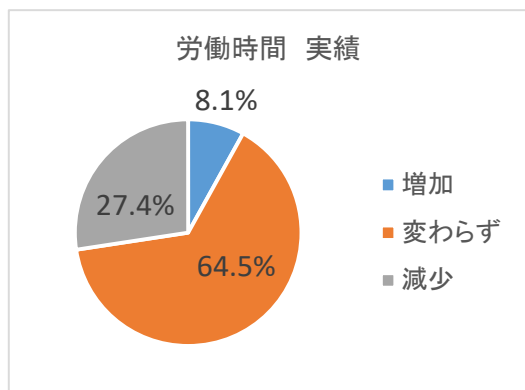
Q1-(4)雇用人員

- ・雇用の実績について、適正と回答した事業者が3/4を占めている。
- ・雇用の見通しについて、不足と回答した事業者の割合が5.8ポイント増加している。



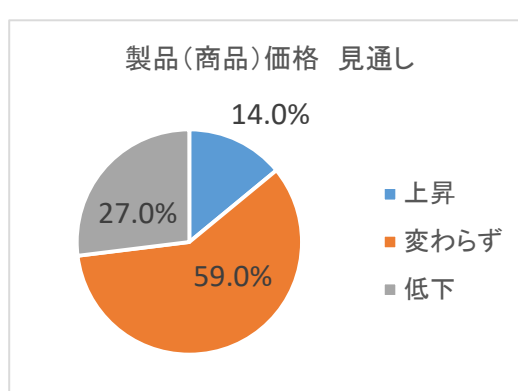
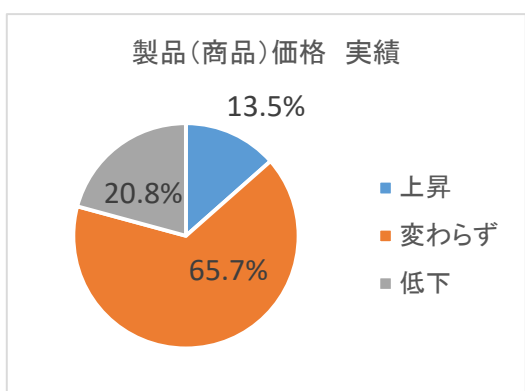
Q1-(5)労働時間

- ・労働時間の実績について、変わらないと回答した事業者が約6.5割を占めている。
- ・労働時間の見通しについて、増加と回答した事業者の割合が1.6ポイント増加している。



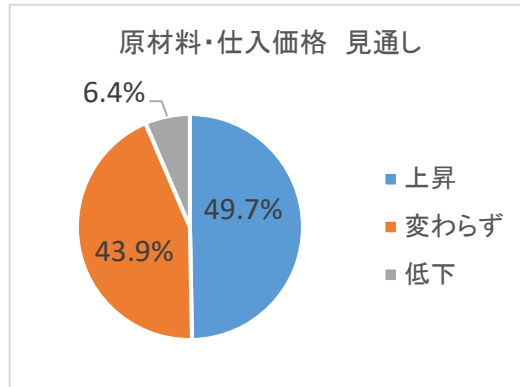
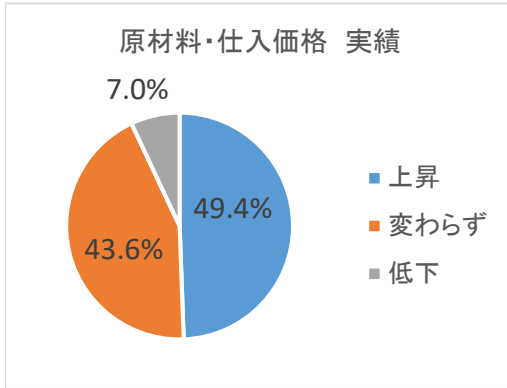
Q1-(6)製品(商品)価格

- ・製品(商品)価格の実績について、変わらないと回答した事業者が約6.5割を占めている。
- ・製品(商品)価格の見通しについて、低下と回答した事業者の割合が6.2ポイント増加している。



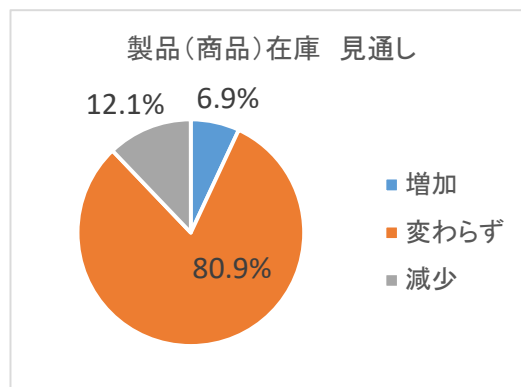
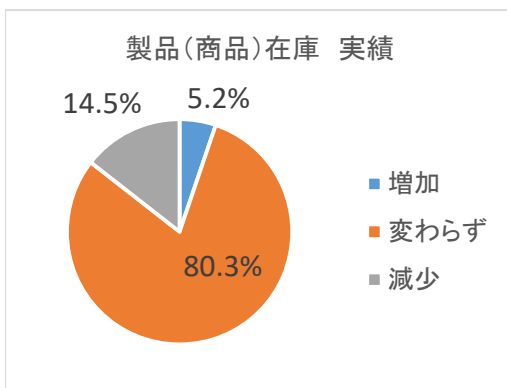
Q1-(7)原材料・仕入価格

- ・原材料・仕入価格の実績について、上昇と回答した事業者が約5割を占めている。
- ・原材料・仕入価格の見通しについて、上昇と回答した事業者の割合が0.3ポイント増加している。



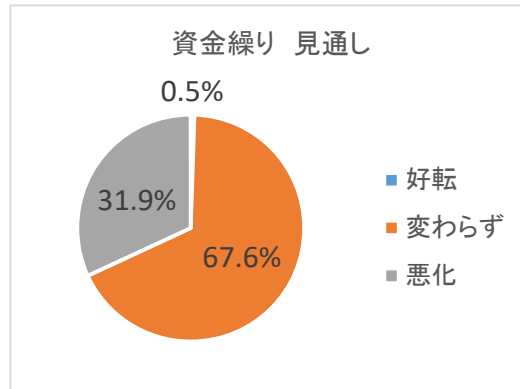
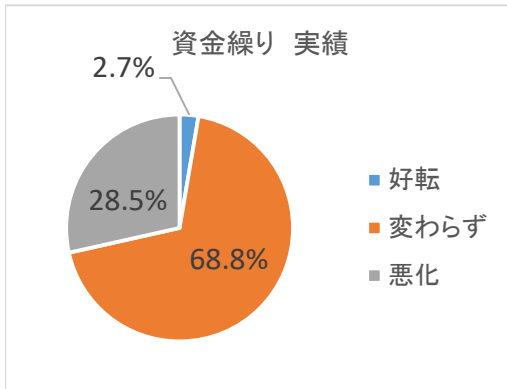
Q1-(8)製品(商品)在庫

- ・製品(商品)在庫の実績について、変わらないと回答した事業者が約8割を占めている。
- ・製品(商品)在庫の見通しについて、増加と回答した事業者の割合が0.6ポイント増加している。



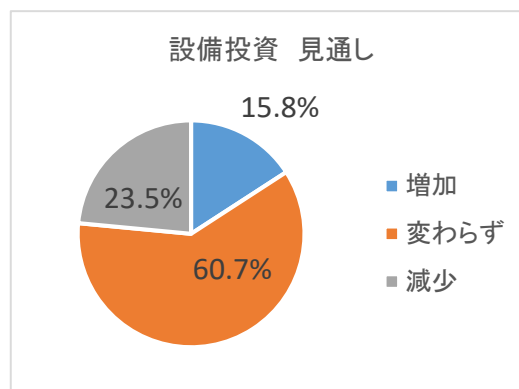
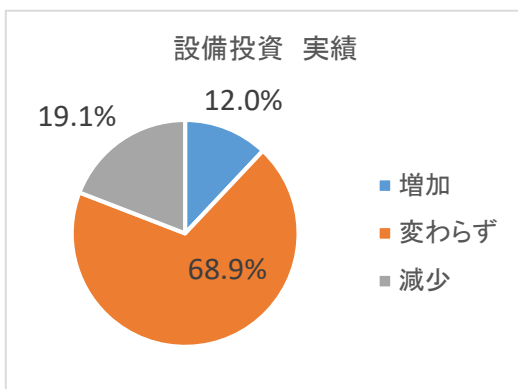
Q1-(9)資金繰り

- ・資金繰りの実績について、変わらないと回答した事業者が約7割を占めている。
- ・資金繰りの見通しについて、悪化と回答した事業者の割合が3.4ポイント増加している。



Q1-(10)設備投資

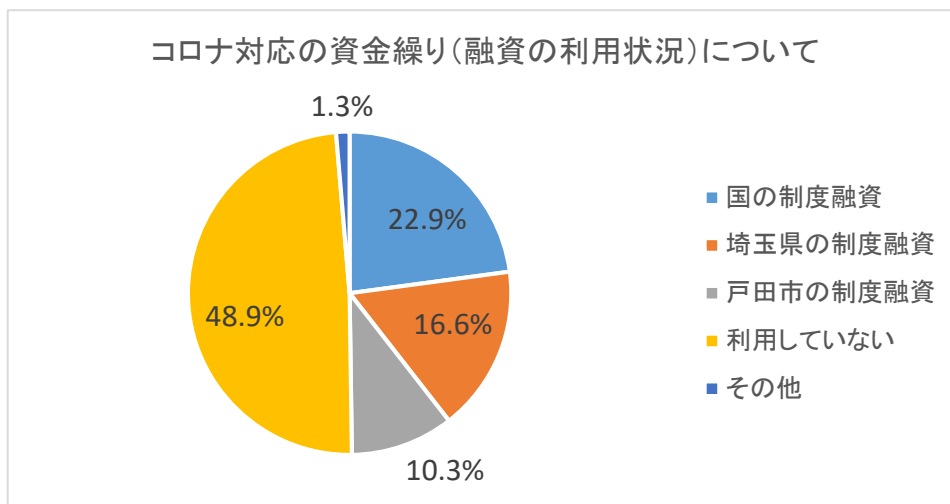
- ・設備投資の実績について、変わらないと回答した事業者が約7割を占めている。
- ・設備投資の見通しについて、増加と回答した事業者の割合が3.8ポイント増加している。



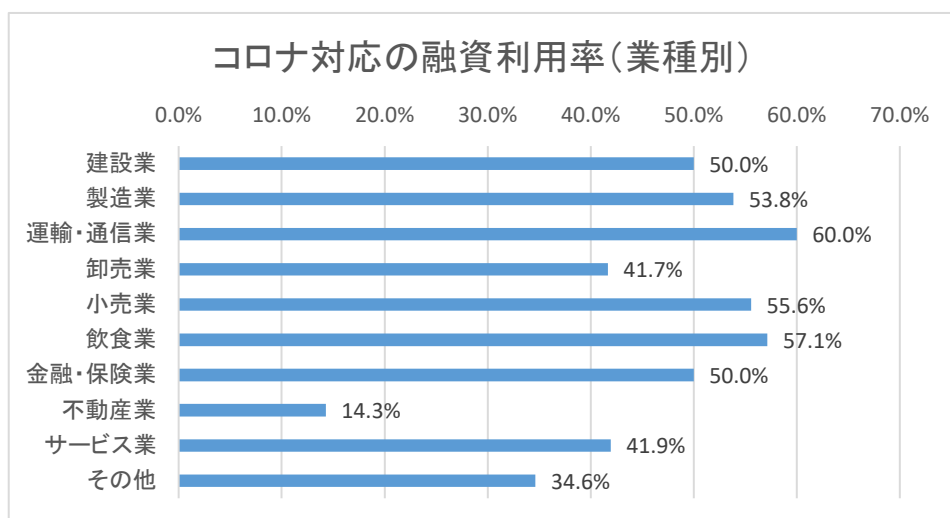
2 コロナ対応での資金繰り(融資状況)について

Q2-1 コロナ対応の資金繰り(融資の利用状況)について

- ・融資を利用した割合は約半数を占めている。
- ・融資の中では、国の融資を利用している割合が一番高く、22.9%である。
- ・その他では、「融資の返済を遅らせた」などがある。

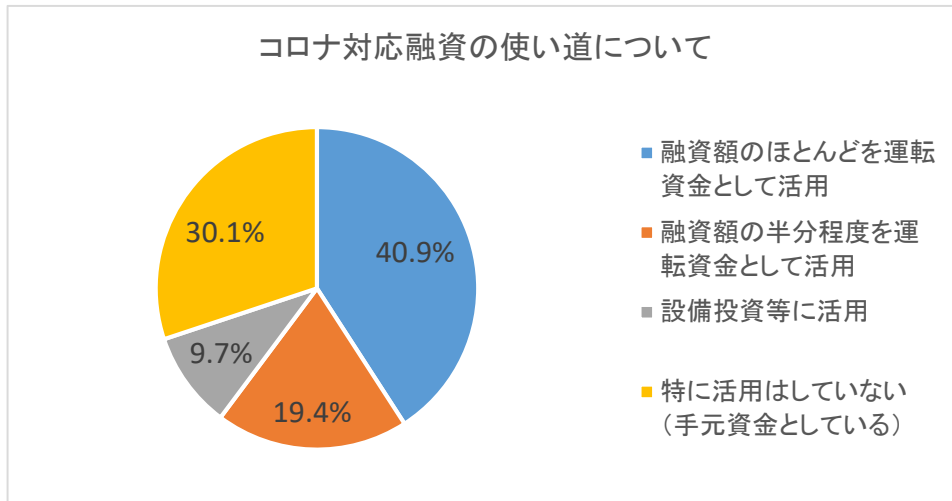


- ・融資利用率が一番高い業種は、運輸・通信業であり、60.0%である。
- ・多くの業種において、4割～6割の融資利用率である。
- ・融資利用率が一番低い業種は、不動産業であり、14.3%である。



Q2-2 コロナ対応融資の使い道について

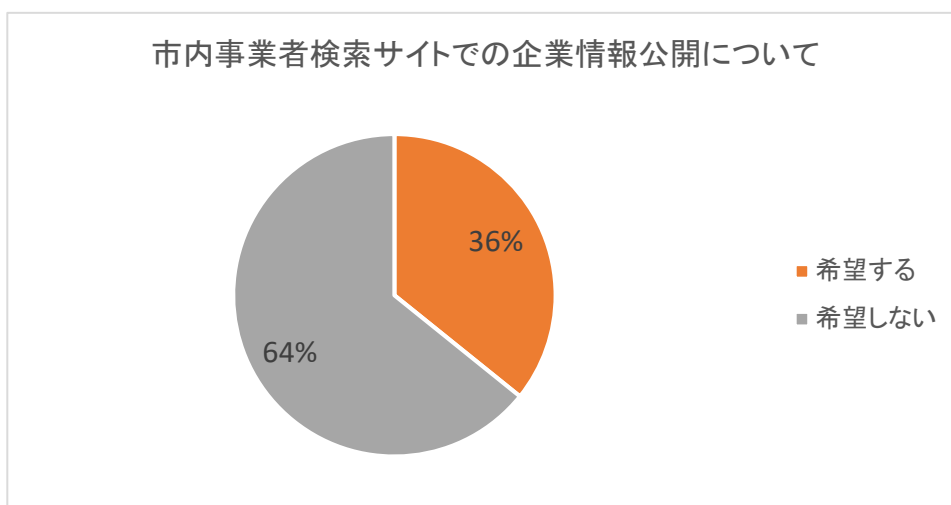
・使い道では、「融資額のほとんどを運転資金として活用」が最も多く40.9%であり、「融資額の半分程度を運転資金として活用」と合わせて約6割が運転資金として活用している。
・「特に活用はしていない」と回答した割合は約3割を占めている。



3 その他の質問1 (市内事業者検索サイトについて)

Q3 市内事業者検索サイトでの企業情報公開について

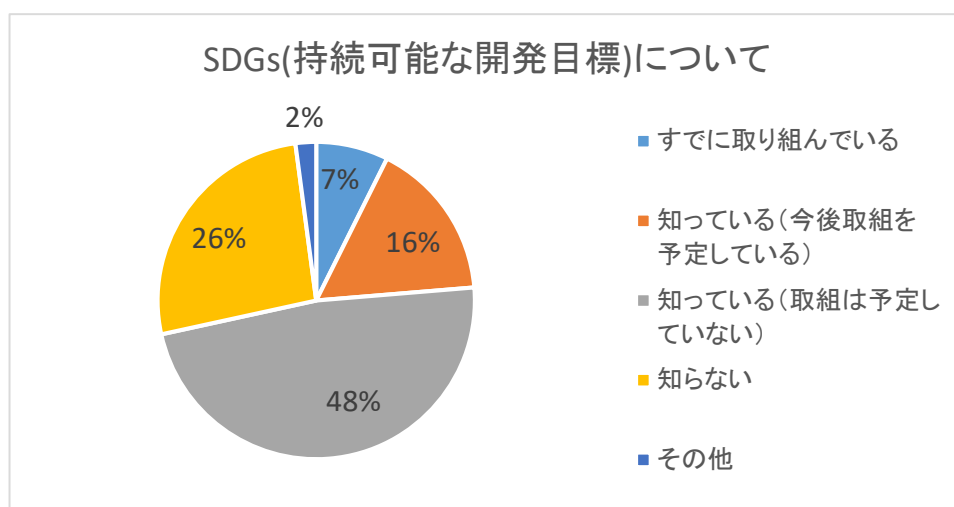
・企業情報の公開について、希望する割合は約1/3である。



4 その他の質問2(SDGsについて)

Q4 SDGs(持続可能な開発目標)について

- ・SDGsについて、「取り組んでる」又は「知っている」と回答した割合は7割を超えている。
- ・近年、メディア等でSDGsという言葉を目にする機会が多くなっているものの約1/4の事業者が「知らない」と回答している。
- ・すでに取り組んでいる企業の取組内容としては、「埼玉県環境SDGs取組宣言企業に登録」、「プラスチック製品の削減」、「ペーパーレス化」、「二酸化炭素削減のため電車移動」などがあつた。



戸田市景気動向に関するアンケート調査結果(2021年7月)
令和3年8月23日発行 戸田市 環境経済部 経済戦略室

実施・編集・発行 : 戸田市 環境経済部 経済戦略室
048-441-1800(内線374)